

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費 (円)		624,737	407,635	406,643				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金	499,789	0	325,314				
	一般財源	124,948	407,635	81,329				
成果 (活動) 指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	関係民間交流団体からの意見交換会への参加者数	複数人が意見交換会へ参加し、意見交換を行うことで民間団体主体の交流促進に繋がるため。	人	目標			10
					実績			8
				目標達成率 (%)			80%	
	②	視察件数 (企業・商業施設・観光施設・公共施設)	本市の様々な面を紹介することで、本市の魅力PRに寄与するため。	件	目標			5
					実績			4
目標達成率 (%)						80%		

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		<div style="text-align: center;"> 必需 (+) 私益 (-) 公益 (+) 選択 (-) </div>
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響
妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(影響内容、程度等) 中国は政府間交流による各種交流への影響力が大きく、政府関係者との関係強化を図る受入事業を実施しなかった場合、民間主体の交流を含む各分野の交流の推進に影響を及ぼす。また、政府関係者による本市視察機会がなくなると、直接本市の魅力を紹介する機会がなくなる。	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果（活動）指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input type="checkbox"/> 成果（活動）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input checked="" type="checkbox"/> 成果（活動）指標の実績値は、目標を下回った		訪問団の本市滞在期間が当初予定より短くなったことから、廈門市と交流のある企業訪問や意見交換など、経済分野に関わる市民との交流時間が持てなかった。	
	(2) 成果（活動）指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由) 関連交流団体との意見交換会をする際、意見交換を希望する内容を参加者・廈門市と事前打ち合わせをしたほうが、今後の交流促進に向けたより具体的で踏み込んだ意見交換が可能になると思われる。		
実施予定 期 日	未定	(3) 類似事業との統合 (統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない				
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない			
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		民間団体が参加する懇親会は、会費負担を依頼している。	

5 今後の方向性

必要性の点検から 実施(予定)時期	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
有効性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
効率性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
具体的内容	本事業は、友好都市提携35周年を記念した佐世保市から廈門市への訪問団派遣に呼応する形で廈門市側からの意向により実現し、市内の民間交流団体も参画した受入事業となった。今後の訪問団受入については、相手方の意向や訪問目的を踏まえて調整をするため、現在のところ次回の訪問団受入時期は未定であり、受入時の事業内容も変化するものと考えられる。訪問団の受入は、市内視察を通じて本市の魅力を直接PRすることができ、訪問団の目的に応じて市内関係者との交流機会を設定することで新たな分野における交流の可能性も見込めるなど、両市の更なる交流促進に繋がることが見込まれる。今後も、廈門市側の意向や本市の状況を踏まえながら、必要に応じて受入を実施していくこととしたい。				